

鉄砲洲神社素読論語 解説

(平成24年7月13日)

【一七】柴^{さい}や 愚^ぐなり。参^{しん}や 魯^ろなり。師^しや 辟^{へき}なり。由^{ゆう}や 嗔^{がん}なり。

孔子が弟子達を批評しているところです。柴は子羔。愚は愚直です。子羔は愚直な人間。参は曾子。曾子は魯鈍で知恵が回らない。師は子張。子張はちょっと誇大妄想的な所があり、大げさ。由は子路。子路は粗暴としか言いようがない。それぞれの人達の特徴の事を一言で表現しています。

自分の体験ですけれど、このような事を人に対して言うと恨まれます。面と向かってここは欠点だから氣をつけた方がよいと云っても、素直に聞く人は、まずいません。遠回しに言うのが良いでしょうと、今は理解しています。

【一八】子^し曰^{いわ}く、回^{かい}や 其^それ庶^{ちか}からんか。屨^{しばしば} 空^{むな}し。賜^しは命^{めい}を受けずして貨^う殖^くす。億^{かしょく} れば則^{おもんば}ち屨^{すなわ} 中^{ちゅう}る。

孔子が評価している人物は顔回と子貢です。顔回は完全無欠の人物にだいぶ近い。

読み方で、「空（むな）し」と今は読まないで「空（くう）し」と読んだ方が良いでしょう。「空（むな）し」だと米櫃がカラになり、貧乏で無一文という意味ですから、「くう」と読んだ方がよいと考えています。

子貢は、勝手にビジネスを始める。子貢はビジネスの才能があり思惑どおりに、しばしば当たるので常に儲かり、どんどん利殖の才を發揮している。孔子はこのような言い方をしていますが、子貢がいる事によって、孔子は旅を続けることができ、助かっている筈なのですが、あまり評価はしていないように見えるのが不思議です。最大のスポンサーがいなければ孔子も途中で野垂れ死にです。

【一九】子^し張^{ちやう} 善^{ぜん}人の道^{にん}を問^{みち}う。子^と曰^しく、迹^{あと}をも踐^ふまず。亦^{また} 室^{しつ}にも入^いらずと。

子張が善人の道を質問しました。孔子が言うには、古人の跡を辿って修行するのがよい。どういう事を教えたかという内容ではなく、師匠が歩んだ道、師匠が苦しんだ道を追いかけて

辿って合点して、同じ様に体験するのが修行としては大変よろしい。先生の言う事を聞くだけでは、先生が奥義に達した部屋に入る事は出来ないだろう。先生と同じ様に勉強した道を辿ってゆくのが王道であるし近道だろうと言っています。